

# ボランティア情報すいた

## 第118号

編集・発行  
吹田市社会福祉協議会ボランティアセンター  
吹田市ボランティア連絡会  
〒564-0072 吹田市出口町19番2号  
市立総合福祉会館内  
電話 (06) 6339-1210

「ホスピス」というと一般的には終末期ターミナル治療が最期を迎える場所ですが、「子どもホスピス」は難病を抱えるお子さんと家族を支え、安らぎの時間を提供する施設です。病院ではないので治療はしない、終末期に子供らしい時間を過ごせる第二の我が家というコンセプトとボランティア(以下V)と共に友として、友人のように関わることを基軸として子供の個性に向き合い、多用な視点、多様な経験、多様な交わりを通して子どもの可能性を開き、のびのびと自分のやりたいことを叶えてあげます。Vの根底は他者の自立を支える、自分らしい生き方の自己選択、自己決定を支えることです。



水谷先生のお話に共感

△アンケートより  
Q1 一番印象に残ったことは何ですか?  
▽「子どもホスピス」の存在と子供たちが亡くなる辛さ。難病になっても子供は「遣りたいことを遣りたい」、大人は「やり残したことをやり遂げたい」心に残りました。  
▽忘れてはいけない第二の患者(家族・兄妹)周りの理解が必要。  
▽子供を亡くした親御さんが子供の記憶が残る場所とし

て、その後も「子どもホスピス」を訪問されるというお話に心を打たれました。  
▽寄り添うことの細かい気遣い、勉強になりました。  
▽青空の下、芝生の上で子供とお父さんお母さんが一緒にピクニックをしたこと、思い出に残ったことでしょうかね。  
Q2 参加する前と参加した後で、あなた自身何か変化がありましたか?  
▽「子供」には、こちらから「これをしたら喜ぶだろう」という考えは筋違いである。  
▽Vの原点↓他者の自立を支える。困っている人を世話したり手伝ったりすることではない。  
▽普通に毎日を過ごせる有難さを感じさせられた。  
▽Vの自発性、個性、遣り甲斐、貢献度、達成感、すべてのバランスが大切。  
▽シニアのサポートが多い日々ですが、子供のことも考えていこうと思えました。アンケートご協力いただきありがとうございます。

### 講座・研修

## 寄り添える人であるために TSURUMI子どもホスピスの実践から

10月6日(金)



グループごとの発表



### 行事案内

#### ◆ボランティア連絡会親睦交流会

日時：平成30年1月29日(月)午前10時～  
場所：千里山コミュニティセンター 多目的ホール

### お知らせ

#### ◇精神保健福祉ボランティア養成講座

内容：精神保健福祉ボランティア活動始めるための3回連続講座

日時：平成30年2月3日・10日・24日 すべて(土) 午前10時～12時

場所：総合福祉会館(出口町)

受付：平成29年12月1日(金)～

定員：先着40人

参加費：無料 但し、ボランティア活動保険未加入の方は各自で負担(300円)

#### ◇第6回子育て支援傾聴ボランティア養成講座

内容：相手にゆっくり寄り添い、お話を聴いて気持ちを受け止めるための5回連続講座

日時：平成30年2月9日・16日・23日・3月2日、3月9日 すべて(金) 午前10時～12時

場所：夢つながり未来館(山田西)

受付：平成30年1月4日(木)～

定員：先着30人 参加費：2,000円

#### ◇ボランティア入門講座

内容：ボランティアを始めるにあたっての心構えについて・ボランティア活動の紹介など

日時：平成30年3月6日(火) 午後1時30分～3時30分

場所：総合福祉会館(出口町)

受付：平成30年2月1日(木)～

定員：先着20人 参加費：無料

#### ◇ポスターデザイン募集中

平成30年5月27日(日)吹田市役所駐車場で開催される第20回吹田ボランティアフェスティバルのポスターデザインを募集中です。最優秀賞にはボランティアフェスティバル実行委員会より図書券をプレゼント!

応募規格：B3版の画用紙

(イラストのみで文字は入れないでください)

応募方法：住所、氏名、年齢、電話番号を書いた用紙を添えて、吹田市社協へ持参または郵送してください。

締切り：平成30年2月9日(金) 消印有効

◇お問い合わせ・申し込み  
吹田市社会福祉協議会ボランティアセンター  
TEL 6339-1210/1254 FAX 6339-1202(土・日除く)

### 表彰・受賞おめでとうございます

◎厚生労働大臣賞表彰(団体部)

吹田・曠の会(代表 大城 緑)

◎大阪府視覚障害者福祉大会 愛の泉賞

セラピー点訳の会(代表 西野 万利子)

### シニア世代・私のボランティア活動

会社生活を卒業してから20年を超えてしまいました。当初は、戸惑いながら、外国人への日本語教師の資格を取ったり、阪大や吹田市国際交流協会のボランティアをしたりしていた時に、大阪府のシルバードバイザー養成講座を知り、参加してみました。そこで知りあった吹田の仲間たちとグループを結成し、手探りでボランティア活動を始めましたが、そのうち吹田市の市民塾活動に応募し、おもちゃづくり塾を結成したのを契

機におもちゃづくりののめり込んでいるいきましました。子どもたちから元気ももらい、生きていく活力にしています。今の子供も私たちはゲームに夢中もつと手づくりおもちゃを楽しんでくれたらと思います。(SA吹田おもちゃづくり 市民塾 丹羽 史朗)



今日も元気!

#### 新加入グループ紹介

#### 吹田防災士会

平成25年に設立、現在30名の会員が吹田市民の皆様へ災害時、避難時の備えにつき啓蒙と普及活動をし、地域の小学生に地域に合った防災勉強会、防災工具体験会を開催しています。他に吹田市消防出初式に参加しています。安全第一に自助、共助の基本防災活動をしています。

### ボランティア相談

ボランティア活動をはじめたい方、ボランティア依頼を希望する方、電話で、気軽にご相談ください。

吹田市ボランティアセンター

06-6339-1210 月～金、1時～4時

(吹田市立総合福祉会館2階)



### 編集後記

国際的にも期待されるオリンピックが数年と近づくにつれて、スポーツがより盛んになってきました。スポーツの種類も多く、内容も期待される種類も多くあり頼もしい限りです。一戦には無理なわれわれは何か盛り上げるために、心配ない環境作りを支援するために、精神面において陰ながら心より応援し、ゆとりある選手が出て嬉しい結果を得られたらと思います。(藤森 重治)

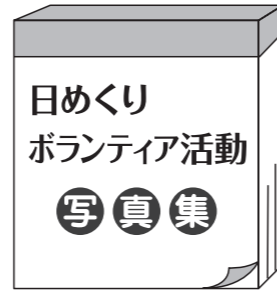
### 「第19回 吹田ボランティアフェスティバル」



▲準備完了、まもなくオープン!



▲たこ焼きは大ヒット、昼前には完売!



5/28 (日)

### 「吹田まつり前夜祭 ・千里南公園会場」



慣れた手つきで…



大当たり! カランカラン!



お任せ! こどもコーナー

ボラ連初参加、若い家族連れが多いことにびっくり!! たこ焼き、いか焼きをはじめ飲み物・的当てコーナーも大賑わいで、V同士チームワークの良さで長時間にも拘らず元気に楽しくお手伝いが出来ました。打てば響くボラ連、次回にも期待が…♡

(吹田精神保健福祉ボランティアグループ「アムール」 高島 純子)

### 「大阪府視覚障害者福祉大会」



6/30 (金)



みなまでお見送り

「セラピー」点訳の会にも壇上に、各賞授賞式の様子

### 「みんなの健康展」



押し花のキーホルダー



牛乳パックで作った座椅子大活躍

### 「明太子工場見学 -めんたいパークATC-」



▲明太子のアーチの前で

秋晴れのもと、氷川きよしの看板に迎えられ、めんたいパークATCに到着。工場の方の説明で明太子の歴史や製造工程を見学し試食。その後、大阪府咲洲庁舎49階のレストランに移動。見晴らしのよさ

に大歓声。歌体操や笑いヨガの方の指導で料理の待ち時間も難なくクリア。それぞれ選んだパスタ料理に舌鼓を打ち大いに感謝して退店。とてもコスパの良い課外研修に大満足の48名でした。

(ボランティアグループ「花から」村岡 朝子)



▲製造工程の説明に耳を傾けて…



▲ランチの合間に歌体操

### 「赤い羽根共同募金」

赤い羽根共同募金は、地域の青少年、高齢者、障がいのある方が暮らしやすい街にするために財政面から支える仕組みです。ボラ連も当情報紙発行に支援を頂いています。



地下鉄「江坂駅」前にて



JR「吹田駅」前にて

### 「大阪府市町村ボランティア連絡会」



河内ブロック



河北ブロック



泉州ブロック

大阪府社会福祉協議会ボランティアセンターに登録の34市町村ボランティア連絡会は4ブロックに分かれ交流会を実施。温かいおもてなしに心が和み、ワークに花が咲きました。

# 川端康成のふるさと茨木市にて 大阪府市町村ボランティア連絡会 北摂ブロック交流会

10/31 (火)

会長他の挨拶の後、追手門学院大学社会学部 准教授 古川隆司氏による「ボランティアが支える」の講演がありました。長屋のお味噌の貸し借りのような助け合い、家主は若夫婦の仕事先を紹介、身分のある人が困った人にそっと寄付をする、江戸時代の人情それがVだったと。吹田でも街の電気屋さんとお付き合いをし、「電気が切れた」とひとこと言えば来て直



トークが弾みます…

分かれ他市とのディスカッション。今私達のVはまるで仕事のようなVを実現するためにならったVを実現するために「おはよう・こんにちは・ありがとう」と声を掛けるなど、参加者の一人は力説。我々吹田市ボランティア連絡会(以下ボラ連)参加者は、

## Vセンター登録団体交流会

11/14 (火)



新たな出会いのグループワーク

「ボランティアセンター団体交流会」に参加しました。94の登録団体への呼びかけは初めてとのこと。41団体64名の参加があり、会場は大勢の人でいっぱい。石井祐理子先生の基調講演「これからのボランティア活動とは」では、戦後から現在までのボランティア活動の変遷をわかりやすく解説していただきました。時の政策に大きく左右されながらも、今必要なことを地道に誠実に続けてきた吹田のボランティア。核家族化、貧困、孤立、平和…。先行きの見え

ない現在も、吹田ならば皆で知恵を出し合って解決していくことができるのではないかなそんな気にさせられました。ボランティアセンターと吹田市ボラ連の活動の話があり、休憩をはさみワールドカフェ。「おもてなし」の心を持って情報交換を楽しみました。初めてお会いする会の方も多く、話は尽きず、もつと時間があつたらと思うくらいでした。定期的なこのような交流できる場があればいいですね。今回は、個人登録の方とも交流したいと思いました。



関心度の高さが!!

三者三様の講演会後、グループに分かれて「もし災害に

## 災害支援ネットワーク

10/27 (金)

あつたら…。というテーマで話し合いました。高層住宅からの車椅子等の避難の仕方、聴覚障がい者への情報提供(アイドラゴン)の設置の有無や避難場所へのコース。また緊急時には小銭の準備、情報を手に入れる方法など。普段から近所の方とコミュニケーションを取り、頼り頼られる信頼関係作りが必要だというお話でした。

(点訳グループ「あい」 和田美江)

## 吹田市 介護老人保健施設

### 感謝しかありません

特養とは違った広々としたロビーでの取材でした。V受入れの目的は? 「利用者さんの生活の質をあげ、心を豊かにして頂くためです。年14グループ延べ2千人が活動して下さっています。歌体操、シーツ交換、配茶、洗髪後のドライヤーVなどの他、クラブ活動として手芸と書道のVをお願いしています。利用者さんの生活の一部となっております。Vの方が職員より利用者さんと年が近くいいお話し相手となり、職員の気付かないところを細かく見て下さり感謝しかありません。」



六甲おろしの棒体操

年1回Vのための研修会、意見交換会を開催、個々に要望も聞いておられるそうです。Vに関して施設さんからのご意見ご要望は? 「個別に出来る囲碁V、将棋V、麻雀V、男性Vをお願いできれば。Vには活動交通費として一律支給しています。Vさんには元気で長く来て頂きたい。活動しよるか迷っている人は取り敢えず一度来てみてください。」と柔らかな笑顔で応じてくださいました。

## 施設さんこんにちは

第2弾!! 吹田市内の施設で活動するVグループが沢山あります。その活動が施設においてどのように役立っているのか、またVと良い関係を築くための取り組み等について伺ってきました。



## のぞみ福祉会 就労継続支援B型 サフラン

### 安心できる存在です

吹田市依頼のお弁当の調理、配食作業が終わった寛ぎスペースに訪問。丁度、精神保健福祉ボランティアグループ「アムール」がお茶会Vをさっていました。 「アムール」はお茶会Vの『アムール』さんだけです。このお茶会に参加する人の目的はそれぞれで、人のためにお茶を点てたい人、お茶を飲みたいだけの人、お喋りをしたい人と様々ですが、Vさんはそれら全てに対応して下さっています。施設長の本宮さんは感謝されていました。 Vに対してのご要望は? 「当事者の方は普段は家族、病院、施設でしか出会いがなく、つい病気や問題に目が行ってしまいます。障がい者である前に市民として生活しています。友達づくり、結婚など生活するうえであらゆるニーズがあります。Vには特別な能力は必要なく、自然な環



西さんの熱い思いが伝わりました

これまで4施設でお話を伺いましたが、どの施設もVがあつて運営できていと言われ、Vに期待を寄せられていました。今回の2施設共に囲碁V、将棋V、麻雀V、男性Vを!と切望されています。男性諸氏!Vを始めませんか?

## 第118号編集委員となつて

右も左も分からない私が、このように陰で皆さんの努力によって情報紙が出来上がっているのかと思ひびっくり!とても勉強になりました。(吹田精神保健福祉 ボランティアグループ「アムール」 森 康子)

情報紙の編集に初参加、第1回打ち合わせから発行までのプロセスを体験し、改めて情報紙の大切さを痛感。今後は他グループとの交流と協力を心がけたいと思います。(グループ「友楽」 林田 弘子)

読んだ方が「これなら私も参加できるかも?」「ちょっとボランティア頼んでみよう」と気軽に思ってもらえる楽しい記事になるよう、私も及ばずながら頑張ります。(吟嶺会 真木 美佐緒)

いつもながら情報紙発行までの作業の難しさ、原稿の依頼、校正、編集と大変な道を通ってきた結果を見て、これがボラ連の情報紙であると誇りに思います。(エコおもちゃ作り 市民塾 藤森 重治)